

令和6年度施設自己評価の結果について

公表：令和 7 年 1 月 21 日

事業所名

そよかぜ

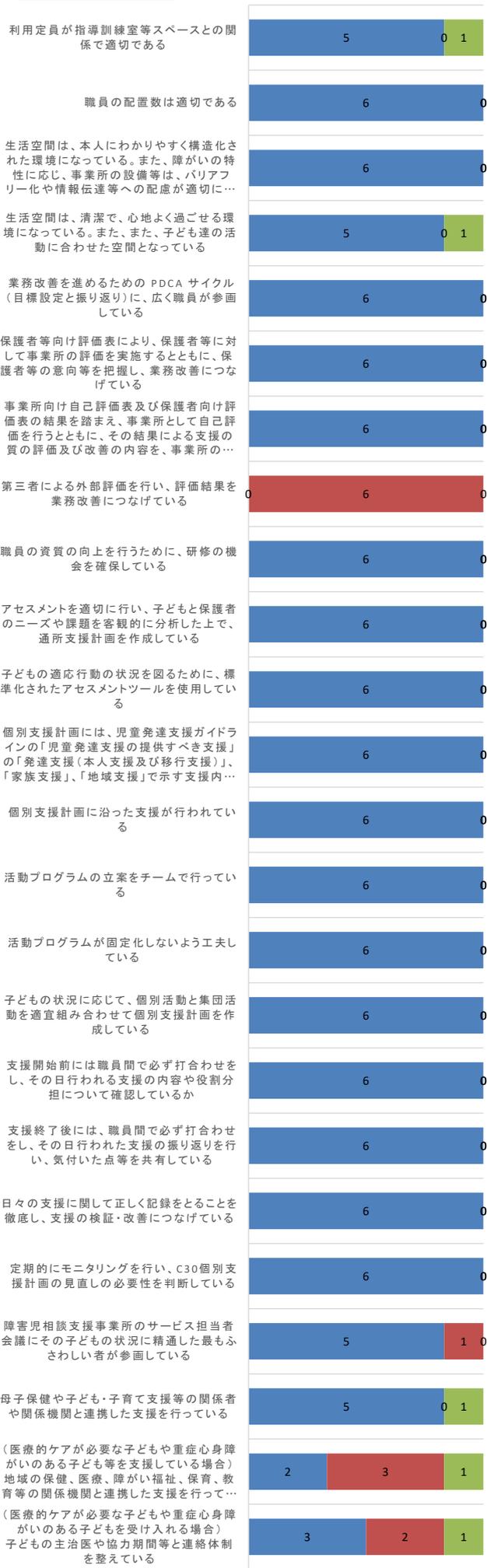
国から示された「児童発達支援ガイドライン」に基づき、事業所職員が自己評価を実施しました。
 事業所における課題点及び改善すべき点を今一度確認し、今後の当会及び当事業所の運営に活かしていきます。
 今後ともご家族様と共によりよい事業所を目指していきたく思いますので、ご理解・ご協力いただきますよう、お願いいたします。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	利用定員に対するスペースは確保している。必要に応じて併設しているこども園のスペースも共有で利用している。	
	②	職員の配置数は適切である	6	0	利用児童に対して基準を満たす職員配置をしている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	視覚表示等を用いてわかりやすくしたり、各部屋を区別して構造化を行っている。またバリアフリー化されているため安全に過ごせる。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっている	5	0	毎日清掃を行い、常に清潔を保持して心地よく過ごせるように心掛けている。	トイレなどは匂いがこもりやすいので定期的に換気や消毒を行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	PDCAサイクルに参画し、職員間で周知して業務改善を進めている。	短時間勤務の職員も意見交換、情報共有ができるよう時間を調整して実施する日を設けていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	利用者アンケートを実施して保護者の意向を把握し、業務改善を行っている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	アンケートを実施した集計結果の回答を事業所掲示やホームページで公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		第三者による外部評価は受診していない。法人内の内部監査において業務改善に努めている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	法人で年2回職員全体研修を実施している。その他必要に応じて外部研修、内部研修に適宜参加している。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、通所支援計画を作成している	6	0	面談を実施してニーズや課題を把握し、利用者に合う支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	事業所で共通のアセスメントツールを使用している。	
	⑫	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	個別支援計画は5領域を網羅するように計画を立案し、職員間での話し合いのもと子どもの支援に必要な項目を選択して支援内容を設定している。	
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われている	6	0	個別支援計画に基づいて支援が行っている。	

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	活動について職員間で意見を出し合いながら活動プログラムを立案している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	季節に合わせた活動を取り入れたり、担当者を変えて固定化しないように工夫したりしている。	
保護者への説明等	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	6	0	子どもの特性や状況に合わせて、個別、集団の活動を組み合わせた支援計画を作成している	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	書面にて支援内容や役割分担を明確化している。	職員の勤務体制により打ち合わせができない場合は、週の中で話し合う時間を設け、翌週の確認などを事前に行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	毎日振り返りを行い、活動や個々の様子を職員間で伝え合い、書面にて全職員で情報共有している。	
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	支援に関して気づいたことを記録に取り、モニタリングに活かして支援の検証・改善に繋げている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	定期的にモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1		サービス担当者会議に参加する体制を整え、会議を実施する場合は参加していく。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	必要に応じて市役所担当課や保健師との連携を行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	3	対象児童はいないが、看護師を配置し支援ができる体制を整えている。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもを受け入れる場合) 子どもの主治医や協力期間等と連絡体制を整えている	3	2	対象児童はいないが協力医療機関をおき、連携体制を整えている。また面談時にかかりつけの医療機関の確認をしている。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	訪問して児童の様子を見ていたり、在籍園と情報を共有し連携を図っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	就学児童の資料を作成し、情報共有や引継ぎを行っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	他事業所間での情報共有や必要に応じて研修を受けている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	0	認定こども園の中に併設されているため、日々の生活の中で常に交流する機会がある。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	地域の協議会に参加して情報交換や課題の検討を行っている。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	連絡帳や送迎時に直接様子を伝えたり、必要に応じて面談の機会を設けている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	4	保護者から送迎時や面談の中で相談を受けアドバイスや助言を行っている。	家族支援プログラムを実施していけるように、今後研修等に参加して検討を進めていく。

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	6	0	保護者と面談をして、説明を行い同意を得ている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	保護者から相談を受けた場合は職員間で共有して対応策を考え、必要に応じて面談を実施し助言等を行っている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2	今年度初めて事業所内で茶話会を設け、保護者同士が悩みを相談できる機会を設けた。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	相談を受けた際には早期に管理者や職員間で相談して検討を行い、迅速な対応を心掛けている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	定期的なおたよりの発行、ブログの更新、連絡帳等で情報を発信している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	個人情報の書類は鍵のかかる場所で管理して十分注意している。	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	視覚情報を活用してわかりやすく伝えるようにしている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	地域の方の畑で野菜の収穫体験をさせてもらったり、中学生の職業体験や実習生の受け入れを行っている。	地域の方を招待する機会を実施できていないため、計画して機会を作っていきたい。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	各マニュアルが策定されており、職員に周知したり、災害を想定した訓練を実施している。
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	併設しているこども園と合同で毎月避難訓練を実施している。	
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	初回の面談時やアセスメント時に聞き取りを行い、子どもの状況を都度確認している。	
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1		対象児童はいないがアレルギーがある場合は医師の指示書に基づき、調理で除去食の対応をしていく。
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	リスクマネジメント委員会や職員会議で報告して事業所内で共有している。	
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	虐待防止のチェックリストや研修の機会を確保して実施している。	
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	4	2	身体拘束を行う必要がある場面はないが研修を実施し学ぶ機会を設けている。また保護者には重要事項説明書にて説明をしている。	

■はい ■いいえ ■無回答



■はい ■いいえ ■無回答

